

「東日本大震災後の交通と輸送の実態：仙台からの報告」

土木学会リスク評価に基づく道路構造物・ネットワークの耐震設計に関する合同研究小委員会(委員長 多々納裕一京都大学教授)では、平成21年度から道路ネットワークの耐震性に関する計画立案の必要性、道路ネットワークの耐震性能を与件とした道路構造物の耐震設計法の確立などをテーマとして研究活動を行ってまいりました。この活動中に発生した東日本大震災において道路が果たした役割とその課題は、ネットワーク計画を考えるために踏まえるべき重要な知見です。このたび、仙台を中心に行われた調査、研究活動の成果を共有し、今後のネットワーク計画の在り方を議論するためにワンディセミナー「東日本大震災後の交通と輸送：仙台からの報告」を企画いたしました。年度末の大変お忙しい時期ですが、多くの方々のご参加をお待ちいたします。

日時：3月28日(金) 10:30-17:00

場所：土木学会会館 2階講堂(東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内7)

入場無料、事前申し込み不要

プログラム

10:30-10:40 開会の挨拶

奥村 誠(東北大学)

I. 調査・研究報告

10:40-12:10

災害時の交通モニタリングと避難インフラ評価
(現場からの報告) 港湾の被災復旧状況

桑原 雅夫(東北大学)

高田 直和

(国土交通省東北地方整備局)

緊急支援物資の輸送実態と課題

福本 潤也(東北大学)

12:10-13:30 休憩

13:30-15:30

震災時のガソリン不足問題の実態
東日本大震災前後の交通行動の変化
災害時の商業物流について

長江 剛志(東北大学)

菊池 輝(東北工業大学)

江藤 和昭・石井 耕治

(オリエンタルコンサルタンツ)

東日本大震災の間接経済被害と復興事業の経済効果

稲村 肇(東北工業大学)

15:30-15:50 休憩

II. 総合質疑・討論

15:50-16:50 震災時の交通とロジスティックのマネジメント

報告者一同

16:50-17:00 閉会の挨拶

桑原 雅夫(東北大学)

主催：土木学会土木計画学研究委員会リスク評価に基づく道路構造物・ネットワークの耐震設計に関する合同研究小委員会
東日本大震災ロジスティック調査団(東北大学、東北工業大学、熊本大学)
東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会

後援：京都大学防災研究所